

テーマ：「**尼崎で、お・も・て・な・し**」(市立尼崎双星高校 放送部)

(9/22, 24, 26, 27 放送分)

稲村 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。今回も、元気いっぱい、市内の高校生の皆さんによる番組をお楽しみいただきましょう。

それでは、さっそくスタートです。どうぞ。

横山 みなさん、こんにちは。尼崎双星高校放送部の3年、横山です。

黒川 2年、黒川です。

三平 1年、三平です。

横山 今回のテーマは、「尼崎でおもてなし」ということで、尼崎の魅力をたくさんお伝えしたいと思います。

三平 「尼崎でおもてなし」っていうけど、尼崎に観光に来る人っているんですか？

黒川 「観光」っていうと、京都とか奈良のイメージがありますよね。

横山 実は、尼崎にも観光スポットがちゃんとあります。ということで、今年オープンしたばかりの観光案内所「あまらぶi+Plus (アイプラス)」の桜田さんに、お話を伺いました。

友藤 尼崎魅力案内所「あまらぶi+Plus (アイプラス)」のスタッフの桜田さんに、お話を伺います。よろしくお願いします。この施設はいつ頃できたんでしょうか。

桜田 はい。こちらの「あまらぶi+Plus (アイプラス)」は5月27日にオープンしました。

友藤 今年の、ってことですね。

桜田 はい、そうです。

友藤 普段どんな仕事をされているんでしょうか。

桜田 そうですね、道案内から、また、尼崎の見どころ、楽しめる所ですとか、食べる所ですとかっていうのを、こちらで紹介しています。

友藤 利用する人は、どれ位いらっしゃいますか。

桜田 一日に30人から、多い時で40人以上の時もあります。日によってや、その日の天気なんかによっても、だいぶ違ってはくるんですけども。

友藤 何をしに来られる方が多いですか。

桜田 そうですね、もう簡単な、この駅付近の道案内のご質問のことから、あと、尼崎の観光的な見どころや名物に関すること、あとは、ボランティアガイドのお申込みの窓口にもなっているので、そういったお申込みに来る方などがいらっしゃいます。

友藤 秋に行われるイベントの情報を、教えていただきたいです。

桜田 10月中頃から11月いっぱいあたりにかけて、武庫之荘で「コスモス園」が見ることができます。一面にコスモスのお花畑が広がってしまっていて、たくさんの方が訪れています。

友藤 「コスモス園」って、どのあたりでやっているんですか。詳しい場所を教えてください。

桜田 場所は、最寄の駅としては阪急武庫之荘駅なんですが、そこからも少し北の方に離れていますので、皆さんバスで行かれる方が多いんですが、武庫川の河川敷、いわゆる「河原」の場所が、すべてコスモスのお花畑になります。

友藤 入場料って、おいくら位かかるんですか。

桜田 コスモス「園」なんですが、入場料は無料で、どなたでも気軽に立ち寄っていただけます。

友藤 普段、コスモスをどなたが育ててらっしゃるんですか。

桜田 「髭の渡し花咲き会」という、武庫之荘のその地区にお住まいの方中心のボランティアの方が、お世話をされています。

友藤 「コスモス園」は、どこのバス停で降りるのが一番近いんでしょうか。

桜田 そうですね、武庫之荘駅から「宮ノ北団地行き」に乗っていただいて、降りるバス停は「西昆陽」で降りていただくのが、一番行きやすいバス停になります。

友藤 そのバス停から、だいたい徒歩何分位かかるんですかね。

桜田 バスを降りると、あとは徒歩5分位です。

友藤 人気のあるおみやげって、どんなものがありますか。

桜田 そうですね、尼崎はもともと尼崎城の城下町から栄えたまちなので、古い物もたくさんありまして、そのなかの一つ、江戸時代から同じ技法で作っている水飴屋さんがありまして、その水飴が美味しいと評判です。

友藤 水飴って、どこのあたりでよく売られているんですか。

桜田 その水飴は「ヒノデ阿免」というお店になるんですけども、場所は阪神尼崎駅の南側、中央図書館の川をはさんで向かいあたりに、お店があります。

友藤 あまり水飴って食べる機会がないんですけど、水飴ってどんな味がするんですか。

桜田 そうですね、「ドロっとした液体状の飴」ってそれだけなんですけれども、ただ甘いだけではなくて、お米から作った天然の甘さの飴なので、甘い中にもコクがある。喉の調子が悪い時なんかは、その飴をなめると喉が潤うというので人気があるので、こういう「放送」なんかされてる方にも、多分人気のある飴です。

友藤 ありがたいですね。今度、舐めてみます。

桜田 ぜひどうぞ。

友藤 ここに「尼崎地名めぐりファンのための交流ノートあります」と書いてあるんですが、一体どういったノートなんでしょうか。

桜田 「尼崎地名めぐり」というのは、尼崎の地名が由来となった「忍たま乱太郎」のキャラクターの名前というのがありまして、「キャラクターの名前の地を見たい」ということで、今、全国から「忍たま乱太郎」のファンの方が訪れております。そういったファンの方が、尼崎に来た記念に、この案内所に置いてあるノートにメッセージを書いていただいております。

友藤 そうなんですか。絵とかも描いてますね。

桜田 そうですね、皆さん絵がお上手なので、色も使ってきれいに描いていただいています。

友藤 この「尼崎地名スタンプラリー」というのは、どういったものなんでしょうか。

桜田 はい。尼崎市制100周年記念のイベントの一つで、この地名めぐりファンの方に向けて、尼崎の地名を巡って、10カ所全部であるんですけども、

友藤 はい。

桜田 スタンプを集めていただくと、記念のカードですとか記念品がもらえるというスタンプラリーを、

7月26日から行っております。そのスタンプラリー自体は、尼崎市役所の北館4階の都市魅力創造発信課にて受付をしているんですけども、このスタンプラリーに参加される方が、この案内所にも、皆、地図ですとか情報やパンフレットをもらいに、来られる方が多いです。

友藤 そうなんですか。僕もやってみたいんですけど、大体いつ頃までスタンプラリーってやっておられるんですか。

桜田 このスタンプラリーは、今年の7月26日から始まっているんですが、市制100周年の記念なので、平成29年3月末まで行っています。

友藤 結構長い間やってるんですね。

桜田 はい。ご自分のペースで、ゆっくり色々な場所を巡っていただいて、スタンプを集めればいいかと思えます。

友藤 そのスタンプラリーの用紙って、一体どこでもらえるんですか。

桜田 スタンプラリーを始めるには、まず尼崎市役所の北館4階、都市魅力創造発信課にて「尼崎影の観光特使」というのに登録していただきます。そして、このスタンプラリーの参加の用紙を受け取ることができます。

友藤 「影の観光特使」って、一体どんなものなんでしょうか。

桜田 尼崎の良さを全国の皆さんに広めていただくための任務を負う特使になりまして、その特使になるには、尼崎市役所で任命してもらう形になりますので、詳しくは、まずは尼崎市役所 都市魅力創造発信課の方にて、ぜひ特使のほうになってみてください。

友藤 この施設の紹介をしてください。

桜田 はい。「あまらぶi+Plus(アイプラス)」、まだできたばかりなんですけれども、JR尼崎駅の改札口のすぐ横にあって、大変便利な場所です。市外の方だけではなく、市内の方にもぜひご利用していただけたらと思います。またこちらは、定休日が第2・第4火曜日となっております。営業時間は10時から、夕方は6時までです。ぜひお気軽にお越しいただけたらと思います。

友藤 改札口降りてすぐということなので、電車から降りてすぐ行きやすいですね。こうやってインタビューしてる間にも、どんどんお客さんが来てらっしゃいますね。

桜田 そうですね。我々やスタッフも、毎日大体2人か3人お待ちしておりますので、たくさん来ていただけたらと思います。

友藤 本日はお時間いただき、ありがとうございました。

桜田 こちらこそ、どうもありがとうございました。

黒川 尼崎にも、観光地やイベントがこんなにあったんですね。

三平 コスモス園、行ってみたいです。

横山 今度行きましょう。

黒川 いいですね、そうしましょう。

横山 インタビューにあった「スタンプラリーをやっている場所」ですが、田能遺跡、JR猪名寺駅、潮江素盞鳴神社など、全部で10カ所あります。

三平 詳しくは、市役所の都市魅力創造発信課で、スタンプラリーの用紙を手に入れてみてくださいね。

黒川 それ以外にも気になることがあれば、ぜひ「あまらぶi+Plus(アイプラス)」へ!

横山 さて、インタビューにあった「ヒノデ水飴」、スタジオに用意しました。

黒川・三平 いえーい!

横山 それでは、食べてみましょう。いただきまーす。

黒川・三平 いただきまーす。

三平 あっ、いい匂い。何だろう、みたらし団子の匂いに近いですね。

黒川 そう言われてみれば、そうですね。

横山 うーん、お米自身の甘さが、おいしいですねー。

三平 食物繊維の味がしますね。

黒川 どんな味やねん！

横山 食物繊維は入ってへんなあ。

黒川 喉に優しくて、桜田さんがおっしゃったように、声を使う仕事をしている方が愛用するのも、わかりますね。

三平 そうですよ。水飴を舐める前よりも、喉の調子がよくなった気がします。

ところで、先ほどインタビューでもおっしゃっていたように、「忍たま乱太郎」のキャラクターの名前は、尼崎市の地名から取られているんですよ。なぜだかわかりますか？

横山 うーん、わかりません。

三平 実は、尼崎は、「忍たま乱太郎」の作者、尼子騷兵衛さんの出身地なんですよ。

横山 なるほど、それで地名が名前になっているんですね。

黒川 あっ、そろそろお別れの時間が。まだ伝えたいことあったのになあ。

横山 そうですよ。尼崎のいいところ、他にもたくさんあったのになあ。

黒川 尼崎市民の皆さんも、行ったことがない名所もあると思うので、行ってみてください。

三平 場所など、詳しいことが知りたい方は、まずはJR尼崎駅の「あまらぶ*i*+Plus(アイプラス)」へ。職員さんが優しく教えてください。

横山 では、また11月にお会いしましょう。尼崎双星高校放送部でした！

稲村 いかがでしたか。それでは、次回の放送もお楽しみに。

以 上